

世界恐慌後の日本経済 ☆政友会の1積極財政 …2高橋是清蔵相<犬養・斎藤・岡田内閣>

A. 3禁輸出再禁止 と4円兌換の停止(5 1931. 12) = 金本位制から離脱  
 ↳6管理通貨制度へ移行 予算の増額 →紙幣・赤字公債の発行→7インフレの進行  
 ↳円為替相場下落=8円安 →9輸出の急増 <例>10綿織物は世界第1位  
 ※11ドル買い事件…財閥等は、政友会内閣への交替→金輸出再禁止→急激な円安ドル高  
 を予測して大量に円売り=ドル買いを実行し、その結果巨利を得た。

B. 11軍事費の急増 …歳出の28%(1930)から47%(1936)へ -----  
 ↳12重化学工業の発達 …131933年には繊維工業を上回る  
 (a) 製鉄大合同…官営八幡製鉄所中心に民間製鉄会社を併合  
 →14日本製鉄会社(1934)…半官半民の国策会社 鋼鉄の自給が可能に  
 (b) 15新興財閥の台頭 →朝鮮・満州へ  
 <例>16日本産業株式会社(17鮎川義介<sup>あいかわよしすけ</sup>)→18日産 コンツェルン  
 19日本窒素肥料会社(20野口 遵<sup>したがう</sup>)→21日窒 コンツェルン  
 22理研コンツェルン(大河内正敏)、23森コンツェルン、24日曹コンツェルンなど

**結果** 好況…251933年頃には大恐慌以前の生産水準を回復  
 輸出 イギリスなど…日本の輸出急増を「26ソシアル・ダンピング」(たたき売り)と批判  
 高率関税で抵抗(27ブロック経済圏の強化)  
 輸入 28アメリカへ依存…綿花、石油、屑鉄、機械、等々 ←重工業の発達

二・二六事件

29 斎藤実内閣 1932. 5~34. 7 ※日満議定書(満州国承認)→国際連盟脱退

A. 無産政党(合法:社会民主主義)の右傾化(国家主義的傾向)

社会民衆党(右派) → 日本国家社会党(1932)…赤松克麿ら 国家社会主義(天皇制重視)  
 全国労農大衆党(中間派) → 30社会大衆党(1932) …政友会・民政党への対抗から陸軍に接近

B. 共産党(非合法)の壊滅と31\_\_\_\_\_ (~1935) 転向者続出 ←

<例>32小林多喜二虐殺(1933)、野呂栄太郎獄中死(1934)、佐野学・鍋山貞親ら獄中で転向声明(1933)  
 … プロレタリア文学 『蟹工船』 『一九二八年三月十五日』(三・一五事件を題材)

※33治安維持法と34特高(特別高等警察)による検挙・拷問・獄中死 →解釈の拡大

C. 35滝川事件 (1933) ※文部大臣鳩山一郎

36滝川幸辰<sup>ゆきとぎ</sup>(京大)の『37刑法読本』などの発禁と罷免…反国体的危険思想として  
 →法学部全教授が抗議の辞表、学生も反対 →佐々木総一、末川博らも辞職

38 **岡田啓介** 内閣 1934. 7~36. 3 ←斎藤内閣は39帝人事件(疑獄事件)で総辞職

…斎藤内閣の海軍大臣 海軍大将・穩健派 ロンドン軍縮会議で尽力 与党：民政党

※これ以降、首相指名は 40重臣会議(元老西園寺+内大臣・枢密院議長・首相経験者ら)で

A. 『41国防の本義と其強化の提唱』(42陸軍パンフレット) 1934

「たたかいは創造の父、文化の母である」→以後、軍部は公然と政治介入

国際協調(軍縮)の否定 1934. 12 43ワシントン海軍軍縮条約の破棄をアメリカへ通告

1936. 1 第2次ロンドン軍縮会議から脱退

B. 44天皇機関説問題(1935) …貴族院で反国体的として問題化(不敬罪で告発)

→岡田内閣、45国体明徴声明(1935)…「統治権の主体は天皇」と明言

46美濃部達吉(東大)は貴族院議員を辞任、47著書は発禁(『憲法撮要』『憲法講話』)

C. 陸軍内部 48統制派 …革新官僚(新官僚)と結び合法的手段での権力掌握 49民政党と接近

の対立 ⇕ 永田鉄山(軍務局長)・東条英機ら幕僚クラスが中心

50皇道派 …直接行動(クーデター)での政権奪取 大尉~少尉級が中心

真崎甚三郎(教育総監)・荒木貞夫らを首領 51政友会に接近

1934. 52十一月事件(士官学校事件)…統制派の摘発で皇道派逮捕 →真崎の(陸軍教育総監)罷免

1935. 53相沢事件…皇道派将校相沢三郎らが、統制派の永田鉄山を暗殺

☆54 **二・二六事件** (551936. 2/26) ※2/20総選挙で政友会大敗

56皇道派の陸軍青年将校らが蜂起 兵士約1400名 57北一輝・西田 税<sup>みつぐ</sup>らの思想的影響

「天皇親政」を目指し、首相官邸、警視庁などを襲撃、周辺一帯を占拠 ※東京に戒厳令

(58斎藤実(内相・前首相)、59高橋是清(蔵相)、渡辺錠太郎(陸軍教育総監)らを殺害

鈴木貫太郎(侍従長)は重傷、岡田啓介首相は辛うじて脱出

→反乱軍として3日後に鎮圧、将校は処刑(北一輝も)

→60陸軍内では皇道派が一掃され、統制派による支配強化

【正誤問題に挑戦】<1994年追試験、1995年本試験より>

(1) 1930年代の軍事費の伸びは著しく、重化学工業を発達させ、日産や日窒などの新興財閥を急成長させた。

(2) 天皇親政を唱える皇道派の青年将校のクーデターにより、高橋是清・斎藤実らが暗殺され、政治のファシズム化が進んだ。

【欧米】 1 **ファシズム** の台頭とヴェルサイユ体制(国際協調路線)の崩壊 ←世界恐慌

- 2 **全体主義** 的体制 独裁的・反民主主義的 イタリア語のファッショ(結束)が語源
- 3 **国家社会主義**(国家の社会政策によって資本主義の弊害をのぞく)を自称
- 4 **反共産主義** ・少数者排除などを掲げて国民的結集をはかり、民衆の支持を得る

※ 5 **人民戦線** …反ファシズムで共産主義と社会民主主義が協力  
 スペインフランスでは政権を獲得した(6 **人民戦線内閣**) が短命に終わる

- <例> イタリア 7 **ファシスタ党** の 8 ムッソリーニ政権(1922～) … 9 エチオピア侵略(1935)、  
 ドイツ 10 **ナチス** の 11 ヒトラー政権(1933～) 国際連盟脱退(1937)  
 … 12 **国家(国民)社会主義ドイツ労働者党**  
 国際連盟脱退(1933)、再軍備宣言(1935)、ユダヤ迫害など  
 外交に関する協定(1936)…「ベルリン・ローマ 13 **枢軸** (the Axis)」

☆世界は

3つの陣営対立構造へ

- |    |                       |
|----|-----------------------|
| A. | 枢軸国陣営 …イタリア、ドイツ       |
| B. | 自由主義陣営…アメリカ、イギリス、フランス |
| C. | 共産主義陣営…ソ連、(人民戦線)      |

<例>スペイン内戦(1936～39)…独・伊 A の介入で反人民戦線の 14 フランコ将軍が勝利 英仏 B は不介入  
 ミュンヘン協定(1938)…独 A のチェコスロヴァキア(ズデーテン地方)への勢力拡大を英仏 B が容認

【中国】 政府 = 15 **中国国民党** (B) は 16 **中国共産党** (C) と対立 (1927～ 国共内戦)

… 17 **毛沢東** が主導、延安へ本拠地を移動(“18 **長征**)  
 八・一宣言(1935)…団結を訴える “抗日救国”

日本による 19 **華北分断工作**…満州国に隣接する中国の華北5省に支配を広げる策略

1935. 梅津・何応欽協定、土肥原・秦徳純協定など

20 **冀東地区防共自治政府**発足(日本の傀儡) …中国は慎重 ←

21 **西安事件** (22 1936)… 23 **張学良** が 24 **蒋介石** を監禁して内戦停止を要求

## 日中全面戦争の開始

25 **広田弘毅** 内閣 1936.3~37.2 ←二・二六事件後、軍部が組閣や政策に干渉

…外交官出身 齋藤・岡田内閣の外相(外務大臣)

① 26 **軍部大臣現役武官制の復活**(1936) → 軍の意向が内閣の存立を左右

② 軍備拡張政策 ← 27 **ワシントン条約・ロンドン条約の満期失効**(1936)

「28 **国策の基準**」(1936)…陸海軍による「帝国国防方針」改定にもとづく

陸軍は北進(ソ連)、海軍は南進(東南アジア・南洋諸島)の準備 → 増税と赤字国債発行

③ 30 **日独防共協定** の締結 (30 1936) … **ソ連を仮想敵国** (29 **馬場財政**)

☆浜田国松(政友会)による軍部批判 → 寺内寿一(陸相)が激怒(「腹切り問答」) → 総辞職

31 **宇垣一成** 政友会と民政党が協力 → 32 **陸軍が反発(陸相を推挙せず)** → 不成立 ←

…陸軍の穏健派 朝鮮総督 憲政会・民政党内閣の陸相を歴任 軍縮を実行

33 **林銑十郎** 内閣 1937.2~5 軍部独裁内閣(政党员を一人も入閣させない)

…陸軍 朝鮮軍司令官 齋藤・岡田内閣の陸相

結城豊太郎蔵相の軍財抱合財政(軍備拡張) 予算成立後に解散を強行 → 総選挙後に総辞職

34 **近衛文麿** 内閣 1937.6~39.1 貴族院議長 国民の期待

ろこうきょう

35 **盧溝橋事件** (36 **1937** 年7/7夜) …北京郊外で日本軍(37 **支那駐屯軍**)と中国軍が衝突

→ さらに 38 **第二次上海事件**(8/9) … → 戦線の拡大

※名称 “39 **北支事変**” → “40 **支那事変**” → “41 **日華事変**” が、実態は全面戦争… 「42 **日中戦争**」

中国では 43 **抗日民族統一戦線**の成立… 44 **第2次国共合作**(9月)

1937.12 首都 45 **南京** 占領 → 46 **南京事件**(日本軍による略奪・暴行・虐殺) 数万人?

政府は 不拡大方針 … 無視 ▲ 派兵を閣議決定 → ドイツ駐華大使 47 **トラウトマン** が和平を斡旋  
→ 政府、和平工作で過酷な条件を示す… 「48 **国民政府を対手とせず**」 (49 **近衛声明** 1938.1)

1938.10 武漢三鎮(武昌・漢口・漢陽)占領 → 国民政府は 50 **重慶** へ → 長期戦(泥沼)化

1938.11 「52 **第2次近衛声明**(53 **東亞新秩序声明**)」 ← 米・英・ソなどが援助(51 **援蔣ルート**)

…戦争の目的は「東亞永遠の安定を確保すべき新秩序の建設」であると主張

1938.12 国民党副総裁 54 **汪兆銘** (55 **汪精衛**) がヴェトナムへ脱出

→ のち(1940)、56 **新国民政府(南京政府)**の樹立…日本の傀儡政権 弱体

1938.12 「57 **第3次近衛声明**(58 **近衛三原則**)」…「善隣友好・共同防共・経済提携」

【正誤問題に挑戦】 <1998追試験A(改)、1991年本試験、より>

- ① 二・二六事件の後、軍部大臣現役武官制が復活し、内閣の存立は軍部によって脅かされることになった。
- ② 日本政府(近衛内閣)は **ただちに中国に宣戦布告し**、大軍を派遣して戦線を拡大した。

2018 総合日本史授業プリント近現代3 第二次世界大戦始まる

3年 組 番 \_\_\_\_\_

☆3つの陣営の対立

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| A | 枢軸国陣営 …イタリア、ドイツ       |
| B | 自由主義陣営…アメリカ、イギリス、フランス |
| C | 共産主義陣営…ソ連             |

1 近衛文麿 内閣 1937. 6～39. 1

A 2 日独伊三国防共協定 (1937) …ローマで調印 外相 有田八郎

仮想敵国は3 \_\_\_\_\_ 1939年にハンガリー・スペイン・満州国も参加

C 4 張鼓峰事件 (1938) …朝・満・ソの国境でソ連軍と衝突 …… 関東軍大敗、  
→認識の変化

5 平沼騏一郎 内閣 1939. 1～39. 8 枢密院議長 元大審院長

C 6 ノモンハン事件 (1939) …満・蒙国境でソ連軍と衝突 …… (北進論から南進論へ)

B アメリカ、7 日米通商航海条約破棄通告 (1939. 7) …日本の中国侵略に抗議 対日経済圧迫

※(A) 8 独ソ不可侵条約 (9,1939) モスクワで

→ 防共協定と矛盾 平沼内閣総辞職 (「欧州の天地は複雑怪奇」)

10 阿部信行 内閣 1939. 8～40. 1 陸軍大将

11 第二次世界大戦勃発 (12,1939. 9) …ドイツがポーランド侵攻、英・仏と開戦 →日本は不介入方針

13 米内光政 内閣 1940. 1～40. 7 元海軍大臣 陸軍強硬派と対立(親英米)

※ドイツ優勢 (1940. 6 14 フランス降伏) 陸軍、軍部大臣現役武官制を使って内閣を倒す

【正誤問題に挑戦】 <1990本試験より>

① アメリカの廃棄通告によって 日米通商航海条約が失効するとただちに、日本は資源を求めてオランダ領東インド(インドネシア)に出兵した。

15 近衛文麿(Ⅱ) 内閣 1940. 7~41. 7

A 16 日独伊三国軍事同盟 (1940. 9) ベルリンで調印 17 松岡洋右 外相(外務大臣)

( 欧州・アジアでの日独伊の指導的地位の相互尊重  
第三国からの攻撃に対する相互扶助(仮想敵国は18 アメリカ )

B 19 南進政策への転換…北進政策の失敗 20 東南アジアの資源確保 21 援蔣ルートの遮断

……フランス領インドシナ：現在のベトナム・カンボジアなど

→22 北部仏印 へ23 進駐 (1940)→アメリカは24 鉄鋼・くず鉄を禁輸

→A 25 日米交渉の開始(1941. 4~ ワシントン) ※米駐日大使グルーも尽力

日：26 野村吉三郎 (駐米大使) +27 来栖三郎 (特命全權大使)

米：28 ハル (國務長官) →妥協案(日米諒解案)成立 →松岡外相が反対

C 29 日ソ中立条約 (1941. 4)…松岡、ドイツよりの帰途に締結

相互不可侵、中立維持、5年間 4国協商によるアメリカ圧倒 「北守南攻」

(B・C) 30 独ソ戦の開始(1941. 6~)…情勢の激変

→7月の31 御前会議(天皇臨席の首脳会議)で南北併進を決定(「32 帝国国策要綱」)

☆33 関東軍特種演習 (関特演)計画…70万の兵力を満ソ国境へ(対ソ戦)

34 近衛文麿(Ⅲ)内閣 1941. 7~41. 10 35 松岡外相(日米交渉に反対していた)の排除

B 36 南部仏印 進駐(1941. 7)…ゴム・石油・リン酸・アルミなど資源の確保

→アメリカの態度硬化…37 在米日本資産を凍結(7/28)、対日38 石油禁輸 (8/9)

☆39 ABCD包囲陣(America, Britain, China, Dutch)…対日経済封鎖

→9月6日の40 御前会議…「41 帝国国策遂行要領」の決定

10月上旬までに交渉が妥結しない場合、対米(英・蘭)開戦

42 東条英機 内閣 1941. 10~44. 7

……陸軍大臣として近衛首相と対立(日米交渉打ち切りを主張)

43 木戸幸一内大臣の推薦で首相に(9/6の御前会議決定の白紙還元が条件)

アメリカ、「44 ハルノート」を提案…45 満州事変以前への復帰要求(事実上の最後通牒)

①日本の中国・仏印からの即時撤兵 ②三国同盟廃棄 ③重慶政府以外は否認

→開戦 46 1941年12月8日 47 英領マレーシア上陸、48 真珠湾攻撃、49 対米英宣戦布告

☆名称 当時は「50 大東亜戦争」(“支那事変”も含め)

→現在は、日中戦争も合わせて51 アジア太平洋戦争と呼ぶ

☆半年足らずで東南アジアほぼ全域を制圧

1942. 1月 52 マニラ(フィリピン)占領 2月 53 シンガポール占領 5月頃南太平洋一帯を制圧